令和6年11月号

# [注]

# 1 学年通信**VOL. 21**

1 学年主任 梅津

# バリアフリー化提言を目指し

10月から各クラスで順次始まっているスライドの発表。 ひとりひとり個性的な発表で、聞いているこちらもとても 楽しく聞かせてもらっています。

#### 流れ

# 9/11 が正解

【0914介護実習①での学び】

- ・高齢者への配慮
- 重椅子操作方法
- 【0921介護実習②での学び】
- 外出の目的

【0914介護実習

・直椅子での重



[0914介護実習①での学び]

- ・ 京輪者の歩き方と、座り方を知った。
- 高齢者とのコミュニケーションの取り方を知っ [0921介護実習②での学び]

説明とともに絵が増えたり

- 高齢者にとっての外出の目的を知った。
- ・車椅子を押す介護での外出支援で想定される危険予

【9月14日の実習で勉強になったこと】

先生方の話の中で初めて知ったことなどが 多く、とても勉強になった。

介護を行うときの心構えなど)

他の人のスライドにあったよ!

(様々な杖の種類と使い方や





「介護」は助ける意味をもつ。

コミュニケーションを取るときには、 の正面や斜めになり

車椅子を動かすには<mark>絶対に声掛け</mark>をする <sup>2</sup>と。(急に動かすとびっくりするし、怖

・介護する側は、利用者に不安感を与えないようにすること。 (利用者も不安になり車椅子に対して恐怖感が出てしまう)

杖は用途によっていろんな種類がある。



マーカー入れるのも good!

## [0914介護実習①での学び]

車椅子の使い方識座

栗山公園に行く前に軽く車椅子の使い方 と道に対応した道を歩いた。このあとの

栗山公園はもっと<mark>整備がされていない道</mark>

だった。

手押しハンドル

介助プレーキ



# この杖ってどんな形のものかな?

【1914日福美田』での子の1 相手と同じ高さで目を見てコミュニケーションをとることが大 切。高齢者は若年者に比べて腰が丸まっていて全体的に動きが小 さくなる。体力が少なくなる分毎日散歩など歩くことが大切。 丁字杖、多点杖、ロフストランド杖、松葉杖などいろいろな種類

の杖がある階段は登るときは下から降りるときは横から支える。

がい方から支える。 車椅子は、少しの振動でも体に響いたり段差を超えるとき思って

【0914介護実習①での学び】

#### 色々な杖の使い方

いたよりも斜めにすること。

・杖を使うと、あしが悪い人や、筋力が衰えてきて歩くことに不安がある人でき 安心して、歩くことができる。

・杖には、使う人のニーズに合わせて色々な種類の物があっ



名前を正確に変更しましょう!

背もたれ ハンドリム

レッグサポート

・若年者と高齢者の大きな違いや変化、 その変化に伴って起こる身体の衰えなどに ついて改めて気づくことができた。 (歩行がすり足になる、背中が曲がるなど)

写真を入れたり、車いすの各 部分の名前がこういう風にわ かるスライドもいいですね!

【0914介護実習①での学び】

基本的な車椅子の使い方

段差を上がるときはピッチングレバ をつかいキャスターをあげ画像の ように段差を登る

このとき車椅子になるべく振動を 与えないようにする。



相手に身を任せる不安を感じた実習でしたね!

# ○車椅子介護

車椅子を押すときには乗っている利用者さんとのコミュニケーションが大事 目を合わせて優しく声掛けをすること。

#### ○車椅子

室内で振動が少なかったため、スムーズに車椅子 押したり、自分でも動かすことができた。 ティッピングレバーを踏みながら進むときは 押している側も乗っている側も不安でした。



「振動」について書 いている人多かっ たですね! 室内と屋外の差は どんな感じかな?

#### 【0914介護実習①での学び】

車椅子を押すときは利用者さんに振動をできるだけ与えないようにする。 杖には沢山の種類があって、その<mark>利用者さんに合わせて杖を選ぶのが大切</mark> コミュニケーションの際には利用者さんと目線を合わせて会話するように





#### 【0914介護実習①での学び】

- ・介護者は高齢者に言葉を掛けたり、確認しながら介護を行う。
- 介護をするとき利用者さんとのコミュニケーションを大切にし、コミュニケーショ ンをするときは目線の位置や高さに気をつける。
- ・段差を通るときはティッピングレバーを踏み、あまり振動を与えずに下ろす。
- ・身だしなみや言葉遣い、重度も注意しながら接する。



色使いや、イラスト などとても見やす く工夫されていま すね!

9/19 が正解 【0921介護実習②での学び

- 1. 栗山公園の改善点
- ・道の舗装
- 駐車場と排水路のズレ
- ・道へ飛び出した草木の伐採



[0921介護実習②での学び]

一回目で練習したときより栗山公園の道がガタガタで、難しくてあんまり前 の状況を見ることができず乗ってる人にすごく振動を与えていた。

Uターンするとき、道が狭くて難しかった。

体育館(講堂)と道 路(公道)では、全 然違いますね(:^A

【9月21日の実習で感じたこと】

・公園に行くまでの歩道が狭く、

草が伸びていて車椅子同士が

すれ違うのは厳しいと感じた。



[実習②での学び]

掛かった。

[0921介護実習②での学び]

9月14日で使い方を覚えた車椅子を

栗山公園で使った。栗山公園は整備が

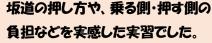
されていないことに加え、とにかく

坂道が多く、押す側としても負荷が

・実際に栗山公園での実習

砂場を行くときは二人で協力していかないと進むこと

してみて降りるときは乗ってる側からしたら転びそう るときは後ろから支えながら上る るべく振動かけないでゆっくり押す



[0921介護実習②での学び]





動物園の中に入っていく道やトイレの

車椅子が入るのは難しいと感じた。

入口が狭かったため、



【0921介護実習②での学び】

#### 1. 車椅子をまっすぐ押すのが難しい

・地面がボコボコだから思うようにタイヤが曲がらないので危ない。

第3駐車場からの脱出はかなり大変で

したね。アスファルトの降起やプロック

の段差がかなり高かったですね。

・小さな段差に引っかかってスラスラ進めない

よりよい町づくりに必要だと感じたこと

#### 2. グレーチングを通るときに車椅子の向きをナナメにする

・車椅子の向きをナナメにしないと、前輪が挟まって抜けなくなる



× ドアが重たい 栗山公園タイルの道⇒

並びが悪いと危ないし、

走ったり自転車などで通 るのも危険!



栗山公園のトイレ入口

スライド式で、出入りが楽

顔のあたりにくる枝は、これは改善す ぐできそうですよね!公園を管理し ているところはどこでしょうか?道幅 は厳しいかもしれないです。トイレの 入り口の幅や、「重さ」も・・・

[0921介護実習②での学び]

座シート

公園にはパリアフリーがあまりなくて<mark>設善や駐車場が沙利道</mark>になっていたり、 <mark>タイルが所々浮いたり</mark>しているところがあり危ない。屋外は劇選があって前鈴 がはまってしまうので車椅子を斜めにして慎重に進む。 屋外は利用者さんが削塞いと感じることがあるのでそこも配慮する。





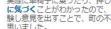
手押しハンド

介助プレー

背もたれ

ハンドリム

同じようなところをスライドにし ているのに、こんなにも違いがあ るんですね! それぞれのいいと ころを参考にして、今後のスライ ドづくりに役立てよう!



実際に車椅子に乗ったり、押したり体験をすることで町の不便なところ に気づくことがわかったので、実際に町の人たちや栗山高校の生徒で体験し意見を出すことで、町の不便なところが少しずつ改善されていくと 思いました。







破損個所は修理?

【0921介護実習②での学び】

#### 車椅子の操作

・ノンバリアフリーエリアでは、車椅子の操作が難しい。

・大車輪だけで車いすが動くときは急な斜面や芝生。

グレーチングを通るときは車輪が挟まらないように、斜めに通る



誰が?

[0921介護実習②での学び]

\*
利用者は少しの段差でも座ってることにより伝わりやすいこと、介護者は坂 などですごく力を使うこと、車椅子の操作が上手く効かず力を使うこと、砂 利道は介護者は力を使うし利用者は振動は伝わりやすく大変であること、 利迪は71確看は70を使うし利用者は振動は伝わりやすく不多とあること、戸がけやコミュニケーションが大切であること、タイルの道は小さい段差が多いこと、道の方まで草木がはみ出していて通りづらそうなこと、動物園の裏の入口は狭くて草木が多く入りづらそうなことなどがあり、<mark>車椅子を利用している人には不便である</mark>ことが多いと思った。





交換?

グレーチングはキャスター(前輪)がはまらないように …これ改善するには?どんな種類があるだろう?

予算は?

かぶせる形での改善はできるか?

耐久性は?

#### よりよい町づくりに必要だと感じたこと

- 1.排水口の穴の大きさをキャスターがはまらないように小さくする
- 2.段階をできるだけスロープに変更する。
- 3.コンクリートのひび割れをできるだけ塗装する。
- 4.砂利道をアスファルトにする。



【0921介護実習②での学び】

- 1.利用者は坂道、砂利道が特に怖い
- 2.少しの坂でも車いすは結構なスピードが出てしまう
- 3.利用者は声掛けがないとすごく怖い



車いすの方たちや、介助する方が大変なポイント多数

バリアフリー化を提言するにあたり、どんな人に、どうやって、どんなものを作成していけばいいかを具体的に考えてみ ましょう!

### バリアフよりよい「まちづくり」に必要だと感じたこと

#### よりよい町づくりに必要だと感じたこと

- ・町全体でバリアフリーを考えるなら、 学校と町で協力する時間を作ったりしたほうが 良いと思った。
- ・他の公共施設などでも、 バリアフリーや改善点を 考えてみるのが良いと思った。





よりよい町づくりに必要だと感じたこと 町が町民の意見を聞き、

道を整備するなど誰もが



住みやすい良好な生活環境を作り、住み続けられる街にしていくことが必要だと思います

「学校」と「町」。「町」の中には、このバリアフリー化に関わる企業はどんなところがあるのかな?その人たちにも関わってもらえるなら、どんなものがあり、どのくらいの経費がかかるかも聴けるよね!

よりよい町づくりに必要だと感じたこと

・みんなが集まれる場所に<u>年齢や特徴関係</u> 無く集まれるような場所が必要だと思っ た。



・そういう施設にも<u>車椅子などの設備を備</u> えておくことも重要だと思う。 今回の実習でスロープや坂道の「長さ」や「角度」も重要だということがわかりましたね!

5. 住みやすい人間関係作りに必要なこと

住みやすい人間関係作りに必要だと感じたこと

# みんなその人の視点になって 考える・体験する

#### まとめ

この栗山町は住みやすそうに思うけれど、

①地域の公共施設のバリヤフリー化

②住む人が他者を思いやれる人間性

③全体で考えて成長できる街

の3つの考えがあると、きっともっと成長できると思った。

・他にもいろんな公共施設などを

「どんな人でも安全に使える場所」に

するために何をどうすればいいのかを 考えた方が良いと思った



・講堂や外での 車椅子の人か 自分でも助け 自分なりに福

・講堂や外での実習の経験を通して、 車椅子の人が困っている状況に遭遇したら 自分でも助けられると思ったし、 自分なりに福祉などに貢献できると思った 1. もっと多くの人が介護について理解する

2. 助け合いの精神を持つ

3. もっと多くの人が**バリアフリーの必要性**に ついて理解する



#### まとめ

今回の実習を通して、車椅子を押す人、押される人の両方の立場を経験する ことができました。この貴重な経験を活かして、自分が車椅子を押す立場に なったら、「行動を取る前に説明をする」、「できるだけ広い道を選ぶ」 「目線を車椅子を乗っている人に合わせる」などのことを徹底していきた いです。

「公園での」実習を通して、「他の施設では」を考えてくれた人もいました!「栗山と福祉」はこれなんです!

あなたなら「何で社会に関われるのか?」を考えるのかが、

#### まとめ

- 1.介護する側だけでなく、される側の気持ちも知ることが大切。
- 2.どんな相手と話すときでも目と目を合わせることが大切。
- 3.介護するときは姿勢・視界・速度・振動が大切。

「栗福」の最終目標です!



